

会員事業所各位

就労定着支援事業アンケート(平成30年12月版)

全国就労移行支援事業所連絡協議会

2018(平成 30)年度から就労定着支援事業がスタートしており、10月から開始されている事業所も多いかと思えます。就労移行支援事業と関わりの深い事業ですので、会員事業所の現状及び現時点での課題や懸念される事項について協議会として取りまとめたいと考えております。

始まったばかりの制度ですので、大幅な制度変更は難しいと推測していますが、運用上の解釈について情報発信や修正が必要な箇所がありましたら、厚労省と協議を進めていきたいとおもいますので、お教え頂ければと思います。

※回答については本年 11 月末現在の状況や数値をお答えください。

※ お忙しいところ申し訳ありませんが、12月10日(月)までに事務局アドレスまで回答ください。

回答先:事務局アドレス:kyougikai@denkikanagawa.or.jp

【事業所の基本情報について改めて教えてください】

事業所名: _____

事業所形態:()就労移行単独・()多機能型

就労移行の定員:()名

回答者名: _____

問1:就労定着支援について実施していますか?(どちらかに○)

- ()実施していない。 → → → 問8以降に進んでください。

理由をお聞かせください:

- ()実施している。※その場合何月から開始していますか? (____)月より開始

以下、問1で実施していると回答いただいた事業所にお尋ねします。

問2:本年 11 月末現在、貴事業所で就労定着支援事業の契約をしている人数を教えてください。

(_____名)

問3:就労定着支援利用者について教えてください。(どちらかに○)

- () 自事業所(就労移行支援事業所)からの一般就労者に限定している
- () 地域のニーズに応じて就労者全般を対象としている

問4:契約者一人に対する月当たり大まかな延べ支援回数を教えてください

多い方で延べ(____)回、少ない方で延べ(____)回、平均すると延べ(____)回ぐらい

問5:事業所で職場定着支援を行っている場合の頻度の多い支援方法に順位(1位から5位まで)を付けてください。(数字をいれてください)

	職場との連絡調整(電話等)		本人や家族との電話等での連絡相談
	職場訪問		本人や家族との面談、ケースカンファレンス
	職場での直接指導		生活場面への訪問や生活支援機関との連絡調整
	ジョブコーチ等の活用やナカポツ等との連絡調整		余暇支援、たまり場支援、自助グループ
	職場での講習会等、企業対象の研修会		金銭管理等の直接指導
	通院同行		離職・転職の支援
	その他 (_____)		

問7:就労定着支援員の配置状況を教えてください。(人数及び対象職種を記入)

常勤換算で(____)人配置している。その内訳は、

- 専任配置(____)人→→常勤換算(____)人
- 兼務配置(____)人→→常勤換算(____)人

→→兼務している職種は(_____)サビ管、就労支援員など

問8:法人や事業所に訪問型職場適応援助者がいますか？(どちらかに○および人数)

- () いる (実際の稼働人数:____名) ・ () いない

問9:貴事業所の法人は、ナカポツセンター等職場定着に関わる機関を運営していますか？(どちらかに○)

- () 運営している ・ () 運営していない

問10:他の法人が運営しているものも含め、定着支援についてナカポツセンター等との連携はしていますか？(どちらかに○)

- ()連携していない ・ ()連携していない

それぞれの場合の理由、連携している場合の役割分担等の内容を教えてください

--

問11:昨年度の就労定着支援体制加算を含む報酬額と比較して、今年度の就労移行支援、就労定着支援の合計の報酬額は上回っていますか？(どちらかに○)

- ()上回っている

<その理由>

--

- ()下回っている

<その理由>

--

<その他>

就労定着支援業化についてご意見がございましたら、以下に記載して下さい。

(例えば、運営上の在り方や報酬の仕組み、運用上の解釈や自治体の対応など。)

--

アンケートは以上です。ありがとうございました。